

+幸せを探すあなたへ

「ありがとうございます。 愛し合いましょう」

「主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません」先週、亡くなった故キム・スファン枢機卿の碑文に彫られたみことばで、生前にすでに選んでいたということです。「愛と平和の使徒」と呼ばれた枢機卿の最期は韓国だけでなく、全世界に穏やかな感動を伝えました。ミヨンドン聖堂を訪ねた 38 万 7,420 人の弔問客、死の瞬間までも角膜寄贈をして見せた分け与える人生、21 ヶ国に送った弔問辞退、葬儀ミサ TV 視聴率 19.2 パーセント、多分「枢機卿症候群」とか「キム・スファン精神」とか、聖と俗の区分なく、みなが一つの心になる「小さい奇跡」を成し遂げたなど、この時代の大きな人物として、統合のリーダーシップを発揮して行ったと評価されています。2 年余りの間、入退院を繰り返しながら、一人で戦った苦しみの中でも「ありがとうございます」という言葉を残しながら、美しく人生を終えた死の前に、神様の愛がどのようなものかを、もう一度考えさせられます。そして 30 年間、枢機卿を補佐したカン・ウィル主教は、告別の辞で「私たちの枢機卿、どんな罪を贖う(補贖、犯した罪に対する代価を払うこと)ことがそんなに多くて、このように長く苦難を味わわれたのでしょうか。枢機卿くらいの方をそのように責められるなら、後ほど私ども罪人はどれくらい厳しく扱われるのでしょうか。おそろしく、怖いです。しかし、その試練の中に大きいみこころがありました」という真実の告白の中で、もう一度、神様の愛がどのようなものなのかを考えさせられました。

神様がくださった真の愛 聖書のヨハネの手紙第一 4 章 7 節から 11 節を見れば「...愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちがまた互いに愛し合うべきです」と言われています。神様がくださった愛には恐れがありません。「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。...」(ヨハネの手紙第一 4:18 ~ 19) 神様の愛は人間をさばきの恐れから自由させます。サタンにだまされて、神様を離れた後に人間に訪ねてきた根本的な恐れ「私は裸なので、恐れて、隠れました」(創世記 3:10) この恐れは、結局、人生の刑罰として迫ってきて、人間はこの恐れを解決してみようともがくようになりました。宗教、哲学、他のどんなものでも解決できない根本的な問題、この問題を完全に解決しようと、この世に來られたイエス・キリスト。自ら十字架で死んで「完了した」(ヨハネの福音書 19:30)と宣言して、復活され、死の權威をうち破られました。罪と死の原理から、運命から人間を解放して、サタンの權威と恐れから、永遠に解放される道を開いてくださいました。私たちを愛され、最後まで愛してくださり、私たちのために、ご自分のいのちまで与えてくださることによって、私たちに對する神様の愛を明らかにしてくださったイエス・キリスト。その方の完全な愛を通して、私たちは真の自由を味わうようになったのです。これが神様がくださった真の愛です。

重職者伝道企画チーム 今、現場では・・・

確立された弟子 ひとりの価値

世の中を先んじる共同体 今、世の中で最も先んじる三つの共同体があります。ニューエイジ、イスラム、統一教がまさにそれです。これらの団体は、共同体を追求しながらも徹底して個人に入って行く戦略で、全世界に大きい影響を与えています。昨年4月、文鮮明(ムン・ソンミョン)の後継として世界平和統一家庭連合(統一教)世界会長に就任したムン・ヒョンジン(29才)氏は、インタビューの中で、全世界に超人種、超宗教、超民族、超国家を指向する統一教の役割が、より一層大きくなっていると話し、夜明けの二時に起きてチョゲ寺の早朝のお勤めや、ミヨンドン聖堂の早朝ミサに参加した後、4時に自分が仕えている教会の早朝礼拝を導き、真心を込めていると言いました。2013年1月13日まで21万の斎壇、世界平和統一神殿を第三神殿の神殿として天の前に奉献して、キリシタン統一教礼拝、カトリック統一教礼拝、仏教統一教礼拝を準備する中で、ソウルに2万人が集まれる1万坪規模の天福宮と韓日海底トンネル事業、ベーリング海峡トンネル事業を推進していると明らかにしました。現在、統一教は一般事業、言論、教育、スポーツレジャー、文化、医療分野の統一グループを通して、のべ1兆ウォンの売り上げを上げていると言われています。

弟子-個人化戦略 結局、世界を生かす共同体戦略は、弟子優先です。そして、弟子の鍵は個人化です。パウロは、弟子ひとりの価値を知って、石に打たれて死ぬほどまでなったのに、弟子のテモテを確立するためにルステラ地域にまた入りました。ピリピのルデヤ、テサロニケのヤソン、コリントのプリスキラとアクラ夫婦、会堂から講堂に入って、結局は、弟子を別に立てて個人化させたのです。この福音を伝えられる弟子を確立させるのが、結局は、伝道に最高に有益です。それで、後見人を立てて、個人の背景を知って、現在の生活方法を正確に教えて、未来に対する問題と使命とそこに対する専門性をそるえるようにさせるのです。それで、重職者は自分がいる所でいつでも弟子を手助けして、弟子を集めるキャンプをしなければなりません。こういう弟子が教会の中に、教会の外に、専門担当者の中に多いという事実を忘れてはいけません。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもへの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、1ヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(1ヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、1ヨハネ5:4)



神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

自ずから来る答えの開始 祭壇を築きなさい

カウベル(cowbell) 心の底から沸き出る重みのある真実は、人の心を動かします。最近、ドキュメンタリー映画では、はじめて100万観客を突破した「カウベル」が穏やかな余韻を残しています。「生涯、土地を耕しながら生きてきた農夫のチェ老人に、30年間を働いてきた牛一頭がいた。牛の寿命は普通15年、ところが、この牛の年齢は何と四十歳。無愛想な老人と、黙っている牛。彼らは皆が認める幻の友人である」老人と牛の40年の友情が人々に感動を呼び起こすのは、その心に含まれた重みのある真実のためではないでしょうか。

答えを呼び起こす重みのある真実 神様が人間を創造して「見よ。それは非常に良かった」（創世記1:31）と告白された、その本来の美しさ「本来の私」を持って神様の前に立つことができるならば、人間にとってすべてのことは祝福と答えになるでしょう。ある時から変わってしまった「もう一人の私」よって、やむを得ず不信仰になりながら苦しまなければならない二重生活、それが繰り返して、ある日、近づいてしまった「奴隷になった私」それで、今、数多くの問題で苦しむ世の中になってしまっていました。どのようにすれば、真の答えを受けて、世の中を生きていけるのでしょうか。3つの事実を発見する前まで、信仰の先祖と呼ばれるアブラハムも、私たちと同じ二重生活の苦しみを味わいながら生きていました。しかし3つの事実を発見してから、アブラハムの人生は完全に違うようになりました。最初に「カルデヤを離れて、わたしがあなたに示す地に行きなさい」という神様のみことばの中で、自分がすでにサタンの権威とのろい、運命から抜け出したという事実を発見しました。不信仰になった自分の姿をおろして、創世記12章の五つの祝福(根源的、代表的、時代的、記念碑的、不可抗力的祝福)を握るようになりました。二つ目に、神様の力を信じる真の信仰を回復するようになりました。この時から、神様が与えられる驚くべき答えと未来を見るようになりました。三つ目、モリヤの山でイサクの代わりに犠牲のいけにえとしてささげられた雄羊事件を通して、真のキリストの契約を握るようになりました。キリストの中にすべての祝福と暗やみを打ちこわし、敵の門を勝ち取り、あなたによってすべての国の民が祝福されるという世界福音化の答えがあることを見るようになりました。

重要な開始 - 祭壇を築きなさい この3つのことを握ってささげる祈りが重要な開始になります。当然しなければならないことを知って、神様がかならず必要とされることをするようになります。そうすれば、誰も変えられない絶対的な証拠がくるようになります。特別祈りを通して特別な賜物が現れるようになります。聖日礼拝の祈りを通して、週の六日間、世の中で勝利できる答えを受けようになります。定刻祈りを通して一時代を変える答えを受けようになります。24時平安な中で祈る時、永遠に残る神様の働きを見るようになります。私たちの力は小さくて、世の中はとても大きいので、聖霊に満たされなければなりません。「神様、私に本当に神様の力を与えてください。することはとても多くて重要ですが、私には力がありません。聖霊で働いてください!」この信仰告白があなたの人生を変えられるのなら、今、何をしなければならないのでしょうか。「祈りの祭壇を築きなさい! そうすれば、ローマ(世界福音化)も見られるようになるでしょう!」これが、伝道者の一生の告白です。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

2日(月)

個人を生かしなさい! (テモテ 2:1)

私たちの次世代に今最も至急なのは、信仰と学業と訓練を個人化することです。福音と祈りに対する答えを教会で回復して、だめな部分は捜し出して積極的に補完して、個人化された世界の土台を置かなければなりません。

3日(火)

次世代が先頭に立つ祈り運動(使徒 16:6~10)

重要な答えが備えられているけれど、祈らなくては分かりません。福音を知っている人がみことば(メッセージ)の流れを分かる時、すべての答えの門が開かれて、教会の方向を知るようになり、正確な神様の導きを受けるようになります。

4日(水)

インマヌエルの祝福を知っていますか

(マタイ 1:18~25)

神様は、どんな人間も災いから抜け出すことはできず、運命を変えることもできず、サタンの働きに勝つことができないから、キリストを送ると約束してくださいました。イエスがキリストだという事実を知って信じる瞬間、すべての問題が解決され、神様がともにおられる祝福が答えとして現れるようになります。

5日(木)

目が開かれた人々(使徒 3:1~10)

重要な人物は「待つこと」が上手でした。私たちが神様の力を体験する時まで、祈りの力を実際に体験する時まで、今、来ている危機の中で明らかかな神様の計画を発見する時まで、祈りながら待つことができるべきです。

6日(金)

最後まで用いられる働き人(使徒 3:11~25)

最も価値ある人生は、神様の前に最後まで用いられる人です。神様の前で仕事をする方法を知っている人、福音の前で仕事をすると知っている人、神様の栄光のために行うと知っている人が、まさにその人です。

7日(土)

減びることができない唯一性の人々

(使徒 4:1~12)

人間が全く知らず、解決できない災いととのろいと原罪を解決する道は、ただキリストしかありません。この福音の唯一性の奥義を持った人は、絶対減びず、唯一の答えを持って時代を生かすようになります。

週間メッセージ

産業宣教	答えの開始である一生キャンプ (使徒 19:21)
伝道学	専門教会の理解(ローマ 16:23)
核心訓練	教会の外の弟子運動(使徒 8:26-40)
聖日1部	アブラハムの3つの答え(創世記 12:1-3)
聖日2部	神様の計画を見る人生のキャンプ (使徒 19:8~20)

花より中年 その成熟の美学



イラスト_ユン・スルギ

最近、花より美しいあどけない男子が、大韓民国の少女、乙女、おばさん、おばあさんのたましいをすっかり奪っている。はなはだしきは、美男子シン・ドロームまで起きて、男性化粧品の売り上げが、不景気にもかかわらず、着実に勢いをもって成長しているという。TVドラマを時間つぶしか、暇つぶしくらいだと片付けてしまう私としては、ちょっと理解し難いことだ。その上、韓国屈指の日刊紙と、キリスト教新聞まで結集して「花より男子」がどうのこうのとしながら、あれやこれやと彼らが着るチョッキに靴の情報まで親切に知らせているので「あれまあ、情けないなあ」と舌打ちしながらも、いつの間にか見なれてしまったのか「花より」という表現がおもしろいと思うようになった。そういえば、おじさんがワンダー少女と少女時代を見ながら、唾をぐくぐくと飲み込むのは良いが、おばさんたちが美男子に熱狂することに対しては何かと言うのだから、不公平な処置だと言える。花より男子は、年をとった女性、お母さん、おばあさんまで、少しの間ではあるが「女」に帰るようにさせる魅力的なロマンスだ。

考えてみよう。豊かなお腹の肉で高圧的に灰皿のお手伝いをさせる夫を、天のように仕えながら生きてきた人生から素敵に逸脱して、想像してみる人生の時刻表が女性の中年だと見る時、花より美しい男子が広げていく愛の行伝を通して勝ち取る代理満足ということが、さもありがたそうと思え、おばさんたちの熱狂がじいんとしてきて、痛ましかったりする一方、可愛さすら感じる。ぜい肉なく、すらっとのびた、すがすがしい体つき(スタイル)に、かわいらしい容貌、荒いが魅力的なマナーと贈り物攻勢、七星級ホテルのような家で暮らすこの王子様が、そんなに色気もなく、美しくもないと思える1人の女性にだけ、すべてを賭ける純正さと感性までみなそえたので、お金と容貌に熱狂しながらも、真剣な愛に飢え渴いているこの時代の流れを、コックをひねって読みだした作家の意図が、陰湿で凶悪にすら感じられるほどだ。

ある時は、花のように咲くこの若者たちが、不惑の年齢を越えて天命を知る中年の私たちを、時には寂しくしたりもする。私が若い年齢に戻れるならば、正しく何かしてみそうな気がする瞬間、戦闘的に生きてきたが、たいした事なくて、訪れてくる人生の

前で、間違いなく臆することもある。だが、私は周辺で会う重厚な紳士淑女が、台風のように押し寄せる人生の緊迫した問題を一つ一つ越えて、数奇な運命の中でも中心を失わないで真剣に生きてきた彼らが、歳月の痕跡で白くなった頭を端正にとがして、世の中を抱いて微笑をもって迫ってくる時、厳かな尊敬心と愛を感じる。

ロマンスグレイ(Romance gray)と言われているだろう。中年の人はより真剣だ。それは利己的で衝動的なことではなく、これまで汗を流して作ったことを分けてあげる余裕があることなので、より一層、光る。それで、中年を越えたタレントが歌う愛の歌は末梢的なものではなく、重厚な小説家が作り出す言葉は、成熟さを醸し出しながら、随筆は身の雑記を越えて格言になる。

ところで、私をより一層感動させる中年の美しさがある。生きてきた歳月に安住しないで、きっぱりと安楽さを断る勇気を持った聖書の中の人物モーセ。エジプトの富と栄光を味わっていた若くて美しい王子(ヘブル 11:23)が、王宮で習った身の振り方と弁舌も光っていた彼が、不惑の年である40歳になってはじめて、自分の民族の苦しみを見ることができた。彼が素晴らしい中年として生まれ出る瞬間だった。

その後が始まった彼の人生を、ヘブル人への手紙の記者はこのように書いている。「信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。信仰によって、彼は、王の怒りを恐れなくて、エジプトを立ち去りました。...」(ヘブル 11:24~27)紅海を陸地のように渡って、イスラエル民族を乳と蜜が流れる地に導いたモーセの挑戦が、私は真に花より美しい。

文_キム・ユスン牧師夫人(随筆家、イエスサラン教会)

*相談したい方はこちらまで連絡してください